

第18回HL7セミナーのご案内(東京、3月14日)

- 日時:平成17年 3月 14日(月)13:00 から17:00 まで (受付開始13:30)
- 会場:全国家電会館 5F大講堂 東京都文京区湯島 3-6-1 TEL03-3832-4291
- 主催:日本HL7協会
- 内容: 司会:情報教育グループリーダー 村上英

1. 挨拶・オランダ会議報告

30分

日本HL7協会技術委員長 浜松医科大学 木村通男先生

【概要】先日ついに正式に規格となったCDAR2などの情報を含み、1月のオランダでのHL7作業部会と、さっそくCDAのデモが行なわれた2月のダラスでのHIMSSなど、アメリカで急速に進む地域医療情報センターを取り巻くなどにも触れつつ報告します。

2. HL7 Ver.3 XML入門

30分(訂正します,2/28)

JAHIS HL7運営専門委員会副委員長 日本光電工業(株) 平井正明氏

【概要】MDF(Message development framework)に則ってHL7 V3によりRIM、D-MIM、R-MIM、HMDそしてXMLインスタンス例に至るまで初心者にもわかり易いようにツールを使って紹介します。

3. HL7 EHR TC の最新動向

60分

日本HL7協会技術委員 京都医療センター 北岡有喜先生

【概要】HL7 EHR TC内の細分化されたワーキンググループの紹介、およびPHR (Personal Health Record) - EHR interoperability など、本邦での実装に向けた概念整理を提示したいと思います。

4. CDA R2の概要と適用検討例

60分

日本HL7協会情報教育グループリーダー 東芝住電医療情報システムズ 村上英氏

【概要】HL7の正式規格となった HL7 CDA(Clinical Document Architecture) Release Twoについて、退院時要約への適用を題材にして解説します。

5. 静岡MERIT-9におけるCDA R2対応

30分

日本HL7協会技術委員長 浜松医科大学 木村通男先生

【概要】静岡県版電子カルテプロジェクトは、いよいよ業者も5社JVに決まり、今年秋のキックオフを目指して進んでいます。その中心になる病診・病病連携機能(MERIT-9電子紹介状)にはCDAR2が用いられます。これらについて紹介します。

※会場にて「HL7V3入門」の会員向け特別販売もいたします。この機会をお見逃しなく。

- 参加費:日本HL7協会会員は無料 一般5,000円(当日会場で申し受けます)

■ 申込み方法:

<http://www.jahis.jp/hl7/> の受け付けフォームから氏名、所属/会社名、所在地、会員または非会員(会員は会員番号記入)、e-mail アドレス、電話/FAX番号など必要事項をご記入の上3月10日までにお申し込み下さい。定員になり次第締め切らせて頂きます。誠に恐縮ですが事務作業が集中しますので、申し込み受領についてのご返事は差し上げませんがご了承下さい。

※受け付けフォームは2/28より利用が可能となる予定です。

■ お問合せ先/事務局:

東京都港区虎ノ門1丁目19-9(虎の門TBLビル6F) 〒105-0001

保健医療福祉情報システム工業会内 日本HL7協会事務局
TEL(03)3506-8010 FAX(03)3506-8070 担当 [蛭名](#)